長谷川時雨が卅歳若かつたら

直木三十五

青空文庫

女人藝術は、美人揃ひである。（私が、獨身であつたなら！）中でも、時雨さんは、美人である（多分、女性は美人であるといはれることを喜ぶにちがひない、と私は信じてゐるのだが――）それからまた、生粋の江戸つ子は、ただの江戸つ子であるよりも生粋とつけた方を喜ぶらしい）それから、その――（夫といつていゝか、燕？――少し、禿すぎてゐるが）愛する於菟吉は十一も齢下で、女性の持ちうる幸福を一人でもつてゐる人である。

その上に趣味が廣く――例へば最近、その三上を對手として、いい齢をしながら（失言？）將棋を稽古しかけたりしてゐる。そして、一かど、考へ込んで、眞面目な顔をして、一寸、待つて頂戴、待つて頂戴つたら、と喧嘩してゐる。また、その趣味の澁い例を擧げると、三上がその著名なる 東京市内出没行脚 をやつて、二十日も歸つて來ないと時雨さんは、薄暗い部屋の中で端座して、たゞ一人双手に香爐を捧げて、香を聞いてゐる。何のためだと思ふと、氣を靜める妙法で――露骨に、これを説明すると、やきもち靜め――その澁さ、床しさ、到底女人藝術同人などの、考へつく所のものではない。

（尤も、これは昔話である）

それからまた、料理屋を經營したり、子供芝居に手を出したり、大衆物もかくし、現代物もいゝし、戲曲、將棋、香合、女人藝術、左傾、等々、三上の神出鬼没が、辟易する位に――世間語からいへば、氣が若く、哲學的に解釋すれば、進歩的頭腦であり、藝者にいはせると、女文士つて道樂氣の多いものね、であり、醫學的に考察すれば、夫の年齢の若さによる生理的現象であり、又これを、社會的に觀察すれば、嫁にもらひ手のない女文士の救濟家（この一句、失言、取消し。こんな事もあらうかと、初めに、皆美人だと、御世辭をいつておいたのだが）。

とにかく、メンスの上つた女性で（どうもこれも失言らしいが）老いてます〳〵旺ん（これもまた失言らしいが）なのは、關西では林歌子、關東では長谷川時雨だけである。田村俊子、岡田八千代、與謝野晶子、等々〳〵、皆振はない中に、たゞ一人、時雨女史が、三宅やす子、宇野千代、平林たい子などの若い人以上に、お河童の女の中に餓鬼大將として、女性行進曲 を吹奏してゐる事は、早は呆けする日本の女としては、珍らしい人である。

同じ女に取巻かれてゐても、三上は（説明中止）――時雨さんは、社會的に、文學的に、とにかく最早、三四人の女文子を送出してゐる、この賢明にして美しい人が、もう卅歳若かつたなら？――日本の文壇は、何う動搖し、私は――私は、數へると、九歳だつ！

青空文庫情報

底本：「直木三十五全集　第14巻」示人社
　　1991（平成3）年7月6日第1刷発行
底本の親本：「直木三十五全集　第14巻」改造社
　　1935（昭和10）年2月10日第1刷発行
入力：門田裕志
校正：多羅尾伴内
2003年8月8日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

長谷川時雨が卅歳若かつたら

直木三十五

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/